

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公表番号】特表2008-534860(P2008-534860A)

【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-504748(P2008-504748)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|-------|-----------|
| F 01 D | 17/20 | (2006.01) |
| F 01 D | 19/00 | (2006.01) |
| F 01 K | 23/10 | (2006.01) |
| F 02 C | 6/18 | (2006.01) |
| F 02 C | 7/26 | (2006.01) |
| F 02 C | 9/42 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|-------|---|
| F 01 D | 17/20 | M |
| F 01 D | 19/00 | S |
| F 01 K | 23/10 | M |
| F 02 C | 6/18 | B |
| F 02 C | 7/26 | D |
| F 02 C | 9/42 | |

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月2日(2008.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1台のガスタービンを有するガスタービン設備(1a)並びに少なくとも1台の蒸気タービン(20)と少なくとも1個の蒸気系とを有する蒸気タービン設備(1b)を有し、ガスタービン(2)にて膨張した作動媒体(AM)の廃熱が、蒸気タービン(20)を駆動する蒸気を発生するために蒸気系に導入され、始動時の蒸気タービンが始動される前にカスタービンが始動され、蒸気タービンが、蒸気系に最初の蒸気が存在する際に既に始動されて蒸気が供給されるカス 蒸気複合タービン設備(1)の始動方法において、

上記カスタービン設備(1a)は始動過程全体にわたり最大負荷勾配で負荷増大が行われることを特徴とするカス 蒸気複合タービン設備の始動方法。

【請求項2】

始動過程時、蒸気タービン(20)の加連中に蒸気温度が小さな勾配で増大するように、蒸気系の調和が行われることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

始動過程時、蒸気圧力が連続して増大するように、蒸気系の調和が行われることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

調和が、蒸気系の少なくとも1個の蒸気ハイパス装置(100、102、200、202)で行われ、この蒸気ハイパス装置(100、102、200、202)は、作動媒体

の廃熱の一部で蒸気タービン（20）の加速および／又は同期のために必要な最低蒸気量が発生され、かつ作動媒体の廃熱の残留部分で蒸気系の圧力上昇が生じる、ほとしか開かれないことを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項5】

蒸気系における蒸気タービン（20）の迂回路に通しているハイパス装置（100、102、200、202）が全開かれることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項6】

カスタービン設備（1a）の基礎負荷に到達するまで負荷の増大を維持することを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1つに記載の方法。

【請求項7】

ガス・蒸気複合タービン設備（1）が、負荷増大中にガス・蒸気タービン複合運転に切り替えられることを特徴とする請求項1ないし6のいずれか1つに記載の方法。